

今からすぐにやってみよう！

今すぐできる

～農作業事故の対面調査から得られた事故防止対策～

携帯電話を持ち歩こう！

1人作業中の事故で、携帯電話を持っていたために救命につながった事例が多数ありました。

例え自宅近くでの作業でも（敷地内の納屋でも）、万が一の事故に備えて、家を出るときは携帯電話を必ず持ち歩くようにしましょう。

（事例）

自宅近くの畑で耕うん機をバックしながら操作していたところ、ほ場から4m下の川に転落。携帯電話で奥さんに連絡をとり、救急車とレスキューの出動を要請。20分後に救出され、40分後に病院に搬送。

腰椎の骨折等で、85日間入院した。



事故現場の様子（畑から川までの高さは4mあった。）
（事故当時は川と垂直に畝を作っていた）

携帯電話が通じない場所もありますので、朝出かける前に、家族に1日の作業計画や場所を予め知らせる習慣を身につけましょう。

また、可能であれば、1人作業を避け、複数人で作業するようにしましょう。

この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索